

令和6年9月14日

3年生保護者のみなさま

刈谷市立雁が音中学校
校長 榊原 和憲

全国学力・学習状況調査の調査結果について

秋涼の候、保護者のみなさまにおかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日ごろは、本校の教育活動にご理解とご支援をいただきありがとうございます。

さて、4月18日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の結果が、文部科学省から届きました。

つきましては、下記のとおり、調査結果の取り扱いに関する方針と本校の結果の概要をお知らせいたします。また、お子さまの結果につきましても、個人票をお渡ししましたのでご覧ください。

記

1 調査結果の取り扱いに関する方針

本校は、文部科学省および愛知県教育委員会が示した「本調査により測定できるのは学力の特定の一部分であること、学校における教育活動の一側面に過ぎないことなどを踏まえると共に、序列化や過度の競争につながらないように十分配慮する」という方針に基づいて、概要を報告させていただきます。

2 本校の概要

国語	<ul style="list-style-type: none">満足できる状態であるが、伸ばしたい点がある。観点別では、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の全てにおいて、全国平均以上でできていた。記述式の問題に対しても意欲をもって取り組むことができている。今後は、意見と根拠などの情報の関係について理解する力や、主張と例示との関係を捉える力を伸ばしたい。
数学	<ul style="list-style-type: none">伸ばしたい点がある。観点別では「思考・判断・表現」がよくできている。目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明すること、与えられたデータから最頻値を求めることが非常にできている。今後は、簡単な場合について確率を求める力や、筋道を立てて考え方を証明する力を身に付けさせたい。
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none">携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っている生徒が多い。将来の夢や目標を持っている生徒が多い。地域の行事に参加し、地域や社会をよくするために何かしてみたいと考えている生徒が多い。学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めようとする生徒が多い。各教科で学んだことの実感を深めることで、学んだことを生かしながら考えをまとめたり、次の学習につなげたりすることができるようにしたい。

3 留意点

- 個人票の見方等について質問がありましたら、担任までご相談ください。